この写真 の作成者 不明な作成者 は CC BY-SA-NC のライセンスを許諾されています

どう作る？レポート構成

現代社会文化研究科1年

図書館学習サポーター　小原　義弘

１，そもそもレポートとは？よくある勘違い

- レポートはただ授業の感想を述べればいい
- 小説みたいに味わいのある文章を使って書くのがよい…？
- 国語の教科書のような評論文みたいに書けばいい

レポートじゃない！

２，正しいレポートとは！

〇問題提起が定められている

〇問題提起に対して、答えが書かれている

〇答えの根拠が、客観的な事実に基づき書かれている

（文献、資料、データなど）

きちんとした構成を作ることが必要！

3，じゃあどうやってレポートの構成を作る？

・序論、本論、結論＋参考文献の三部構成が一般的！

・問いを定める

→問いに対しての情報を集める（文献など）

→情報を元に、自分の意見を述べる

４，各構成の書き方

①序論…レポートの導入部分

〇なぜこのレポートを書くのかを明確に書く

〇レポートの前提となる背景（歴史、社会問題など）を踏まえて問題提起と提言をする

→・どんな課題について論じているか

・課題に対して自分の考えは何か

〇例

なぜ朝と夜があるのか（問い）

→地球が自転しているから（提言）

②本論…問題提起に対して、客観的根拠を元に自分の主張を述べる

〇自分の主張と事実を分けて書く！

〇資料を提示して主張を裏付けるのがよい（書籍、論文など）

〇構成の例

問題提起に対して、書籍を用いて～の調査、研究を行った（事実）

→調査、研究の結果、～ということがわかった（事実）

→結果から、私は～だと考える（主張）

③結論…レポートの結論

〇問題提起に対しての答えを述べる

〇今後の展望も書ければよい

④参考文献…レポートの最後に必ず記載！

〇レポート作成に当たってどんな資料を用いたかを記載する

〇例えば書籍の参考文献の場合…

著者,書名,出版社,発行年　を記載する

客観的な情報を元に、自分のオリジナルな意見を述べれるようにしよう！